

2020 年度

事業報告書

2020年度は当財団、公益財団法人宇宙科学振興会が2012年4月1日付で公益財団法人に移行して9年目の事業年度であった。当財団の事業目的は宇宙科学に関する事業への援助及び研究助成等を行い、宇宙科学の振興に寄与することである。この目的に沿って行った公益目的事業は、(1)宇宙科学奨励賞顕彰事業、(2)国際学会出席旅費支援事業、(3)国際学会開催支援事業の3事業である。2020年度は、(1)の宇宙科学奨励賞顕彰事業については予算の範囲内で推進した。しかし、(2)の国際学会出席旅費支援事業、及び(3)の国際学会開催支援事業については、新型コロナウイルス問題のため殆どの国際学会がキャンセルや大幅延期あるいはリモートで開催されることになったため、公募及び審査は行ったものの採択者の辞退により助成金の支払いは行われなかった。また他団体が中心となって企画・運営される宇宙科学の知識の普及・啓蒙活動に対する一般支援助成についても、対象とするイベントの多くが開催されなかったため、少数のイベントについて法人会計の管理費内で実施した。

当法人の管理・運営は極めて経費を節減した方法ながら、関係者の協力の下で例年通り進められた。また新型コロナウイルス問題に対処するため、一部の管理・事務作業はリモートで実施した。

I. 公益目的事業

(1) 宇宙科学奨励賞顕彰事業

宇宙科学奨励賞は、宇宙理学・宇宙工学の分野で優れた研究業績をあげ将来宇宙科学推進の中心となることが期待される若い研究者を顕彰し、宇宙科学分野の進展に寄与することを目的として、当公益財団法人の前身の財団法人宇宙科学振興会において2008年度に創設された。この事業ではまず関係学会（2020年度現在は13学会）の研究者に候補者の推薦を依頼し、宇宙科学各分野の当該年度4月2日時点で37歳以下の若手研究者（この年齢制限は大学院修了後約10年間を目途とするとの趣旨）のうちで最近著しい成果を挙げている若手研究者を推薦していただく。寄せられた推薦に基づいて、各分野の有識者で構成される選考委員会により候補者の審査・選考を進める。選考委員会は原則として宇宙工学関係から1名、宇宙理学関係から1名、合計2名の候補者を選出する。理事会は選考委員会の推薦に基づいて当該年度の授賞者を決定する。

2020年度は第13回目となるが、授賞者には賞状、表彰楯の他に副賞30万円が授与される。今年度は関係の各分野の研究者から、理学系5名、工学系4名、合わせて9名の授賞候補者の推薦を受けた。2020年11月19日に第1回、2020年12月18日に第2回の選考委員会が開催され、その間及びその後のメール連絡を含めて審査選考が行われた。審査の結果、理学分野ではカナリア天文学研究所の巽瑛理氏（1986年生）に対して、その研究題目「小惑星探査機の観測と室内実験によるC型小惑星の進化史の解明」を対象として、工学分野では三菱電機(株)鎌倉製作所・衛星情報システム部・技術第四課・専任 北村憲司氏（1988年生）に対して、その研究題目「低推力スラスタを用いた静止衛星の軌道遷移および軌道保持制御方式の開発」を対象として、第13回宇宙科学奨励賞を授与することとなった。

例年は3月初旬に多数の来賓、関係者列席のもとに本賞の表彰式、講演会および祝賀会を開催しているが、今年度は新型コロナウイルス問題への対応のため、表彰式のみを3月8日にオンラインで行い、講演会は4月にオンラインで開催することにした。なお、第12回宇宙科学奨励賞についても、授与は昨年度に行ったものの関係者が出席しての表彰の式典は新型コロナウイルス問題により延期になっていたため、今年度3月8日にあわせてオンラインの表彰式を開催した。

(2) 国際学会出席旅費支援事業

この事業は当財団が公益財団法人に移行する前の財団法人宇宙科学振興会により1997年度に創設された。当初より宇宙理学及び宇宙工学に関する独創的・先駆的な研究活動を行っている当該年度4月2日時点で35歳以下の優れた若手研究者に対して、海外で開催される国際学会に出席する費用の支援を行ってきた。2006年度以降は、大学や研究機関などを退職後も、活発な研究活動を行っている63歳以上のシニア研究者に対しても、支援を行っている。

国際学会出席旅費支援の申請は当財団の研究助成審査委員会において採否が審査される。応募総数に対する採択率は最近では平均して5分の1程度である。審査の結果採択された助成対象者は、その発表論文テーマ、国際会議名、開催場所、日時等の情報とともに財団のホームページに公表される。渡航後には国際会議で発表の成果についての報告書を渡航1ヶ月内に提出頂き、提出された報告書は財団のホームページに掲載される。

2020年度前期に当たる2020年4月～9月の間に開催される国際学会への出席に対しては、2020年2月29日に応募を締め切った。また2020年度後期に当たる2020年10月～2021年3月に開催される国際学会への出席に対しては、2020年8月31日に応募を締め切った。また2021年度前期に当たる2021年4月～9月の間に開催される国際学会への出席に対しては2021年2月28日に応募を締め切った。

本年度の公募は、財団の公式ホームページの他に関係13学会の学会誌または学会ホームページを通じて通知された。採択者には1件当たり10万円～30万円の範囲で助成を行うこととしており、2020年度の予算(210万円)では10件程度の国際学会出席旅費支援を予定したが、2020年2月28日締切りの公募に対し14件の応募、8月31日締め切りの公募に対しては応募が無く、合計5件(応募者総数14件、採択率約36%)が採択された。ただし新型コロナ問題により採択された5件全ての国際学会がキャンセルあるいは次年度以降への延期となり、採択者が辞退した。表1に採択後辞退した辞退者の一覧表を示す。

(3) 国際学会開催支援事業

宇宙科学分野（宇宙理学、宇宙工学）の国際学会・研究集会を日本国内で開催する組織・団体に対する支援は前身の財団法人宇宙科学振興会の創設（1990年）当初より行われてきた。ただし、当初は宇宙科学分野の国際学会・国際研究集会の主催は宇宙科学研究所の研究者が行うことが多かったため、全国公募ではなく宇宙科学研究所内部の研究者または衛星プロジェクトなどで宇宙科学研究所と共同研究を進めている各大学の研究者を対象とする内部応募の形式となっていた。その後この助成事業に対し全国的に関心・期待が高まってきたことを受け、2007年度よりこれを宇宙科学研究所の事業に限らず理論的研究等も含めて、全国の研究機関・大学において宇宙理工学に関する国際学会・研究集会を主催する場合には広く応募できるように、全国の研究機関・大学を対象とした公募型事業に発展させてきた。公益財団法人宇宙科学振興会に移行した後においてもこの事業を継続している。

国際学会・国際研究集会開催の支援の申請は、国際学会出席旅費支援の申請と同様、当財団の研究助成審査委員会において採否が審査される。応募総数に対する最近の採択率は平均して2分の1程度である。年度の上半期（4月～9月）開催分の応募の締め切りは前年度2月末日とし、下半期（10月～3月）開催分の応募申請の締め切りを8月31日として実施している。

本年度の公募は、財団の公式ホームページの他に関係13学会の学会誌または学会ホームページを通じて通知された。採択された国際学会・国際研究集会に対し、1件当たり20～50万円の範囲で助成を行うこととしており、2020年度の予算（100万円）では3～5件程度の国際学会・国際研究集会開催支援を予定したが、2020年2月28日締め切りの公募に対しては5件の応募、8月31日締め切りの公募に対しては申請が無く、合計1件（応募件数5件、採択率20%）が採択された。ただし、新型コロナウイルス問題のため助成対象となった学会の開催は次年度以降に延期され辞退扱いとなり、助成は実施されなかった。表2に採択後辞退となった国際会議を示す。

表1 2020年度 国際学会出席旅費支援 辞退者一覧表

所 属	氏 名	国際研究集会の 名称	主催団体	開催地	期 間
東京大学大学院 理学系研究科物理学専攻 修士2年	丹波 翼	IACHEC 2020 IACHEC (International Astrophysical Consortium of High Energy Calibration)2020	IACHEC group	ヴァージニア州アメリカ	2020.4.20-4.23
総合研究大学院大学 博士3年	Celik Onur	第17回国際惑星探査機ワークショップ 17th International Planetary Probe Workshop	NASA	カリフォルニア州アメリカ	2020.6.6-6.12

東京工業大学 助教	中条俊大	2020 AAS/AIAA Astrodynamics Specialist Conference	AAS	カリフォルニア州 アメリカ	2020.8.9- 8.13
東北大学 博士2年	安達 拓矢	第50回国際環境システム 会議 50th International Conference on Environmental Systems (ICES2020)	ICES Steering Committee	リスボン ポルトガル	2020.7.12- 7-16
東北大学大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻 博士3年	小川 秦一郎	2020 AIAA 推進およびエネ ルギー会議 2020 AIAA Propulsion and Energy Forum	AIAA	ルイジアナ 州 アメリカ	2020.8.24- 8.26

表2 2020年度 国際学会開催支援 辞退一覧表

第20回高電離イオン物理 学国際会議 20th International conference on the Physics of Highly Charged Ions	HCI2020 国内組織 委員会	田沼 肇	首都大学東 京 理学部・ 物理学科 教授”	島根県産 業交流会 館	2020.9.7- 9.11
--	---------------------	------	--------------------------------	-------------------	-------------------

なお、公益目的事業(1)～(3)の2020年度の事業別応募採択数を、参考資料として本報告書に添付している。

II. 財団の管理運営等法人会計関係

現在当財団は神奈川県相模原市に所在する国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所内に一室を借用しこれを事務室として、非常勤事務局長1名、非常勤事務職員2名の計3名体制で財団の管理運営を行っている。

(1) 宇宙科学に関する一般支援助成

一般支援助成の目的は、広く一般国民に対して宇宙科学に関する知識を普及するとともに、若手青少年の宇宙科学に関する興味・関心を深め、宇宙科学の将来の発展に寄与することである。本助成は一般国民、青少年を対象に同様の目的で活動する他団体と連携して行う。

2020年度に一般支援を行なった支援先は表3に示す通りである。本助成は他の組織・団体が企画・運営の中心になっている事業への支援であるため、公益財団法人への移行後は管理費（法人会計）から支出することとしている。当初は6件について助成を行う計画であった

が、新型コロナウイルス問題の影響で多くのイベントがキャンセルされ、助成は3件となった。2020年度の支援額は約25.6万円であった。

表3 2020年度 宇宙科学に関する一般支援助成

支援内容	支援先
多摩六都サイエンスレクチャー 2021年3月26日	多摩六都科学館
第16回 能代宇宙イベント 2020年11月21日～23日開催	一般社団法人あきた宇宙コンソーシアム
第28回 衛星設計コンテスト 2020年10月31日開催	一般財団法人日本宇宙フォーラム

(2) 基本財産の現況と運用

2020年度末における基本財産総額は約4億4441万円であり、基本財産の運用に伴う果実（基本財産受取利息）は約564万円（約1.27%）となり、前年度実績より約11万円の増加となった。

(3) 賛助会員の加入状況

2020年度の会員数は、12法人（25口^{*}）であった。（※ 賛助会費1口10万円）

(4) 理事会、評議員会の開催

2020年度には次の通り理事会、評議員会を開催した。

- ・2020年5月25日：第26回理事会（書面）を開催した。「2019年度事業報告書及び財務諸表等」、他3件の議案について審議・承認を行った。
- ・2020年6月10日：第14回評議員会（書面）を開催した。「2019年度事業報告書及び財務諸表等」、他2議案について審議・承認を行った。
- ・2020年10月23日：宇宙科学研究所A棟2階 小会議室において第27回理事会を開催し、「理事長業務報告、常務理事業務報告」他2件について報告を行った。
- ・2021年1月5日：第28回理事会（書面）を開催した。「2020年度第13回宇宙科学奨励賞の授賞者決定の件」について審議・承認を行った。
- ・2021年3月8日：宇宙科学研究所A棟4階会議室において第29回理事会を開催し、「2021年度事業計画及び収支予算書の件」、他2議案について審議・承認を行った。

Ⅲ. 附属明細書について

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。

以上

(参考資料)

2020年度 事業別応募採択数 (公募年度で集計)

(2020年4月～2021年3月)

1) 宇宙科学奨励賞顕彰事業

	応募申請 (件)	採択 (件)	採択額 (¥)
10/31 締切	9 (理5・工4)	2 (理1・工1)	600,000

2) 国際学会出席旅費支援事業

	応募申請 (件)	採択 (件)	採択額 (¥)
8/31 締切	0	0	0
2/28 締切*	1	1	300,000
計	1	1	300,000

* : 2/28 締切の助成は、2021年度前期 (2021年4月～9月) に実施予定のため、2020年度事業報告書本文の集計には、件数、採択額ともに含まれない。

3) 国際学会開催支援事業

	応募申請 (件)	採択 (件)	採択額 (¥)
8/31 締切	0	0	0
2/28 締切*	0	0	0
計	0	0	0

* : 2/28 締切の助成は、2021年度前期 (2021年4月～9月) に実施予定のため、2020年度事業報告書本文の集計には、件数、採択額ともに含まれない。